



ロン D. バートン  
2013-14年度国際ロータリー会長



# 高砂

No. 2 2

*Takasago Rotary Club*

週報

### クラブ会長方針

#### 【目 標】

- ・親睦を深め会員ご家族とのお付き合い
- ・ロータリークラブを今一度考えなおし、各委員会活動への理解を得る
- ・ロータリークラブの地域へのアピール

例 会 記 録 (2013. 12. 13 (金)) 通算2,969回

#### ◆開 会

◆唱 歌 ロータリーソング (我等の生業)

◆「四つのテスト」唱和

#### ◆プログラム予定

12月20日 (金)	12月23日 (月)	1月3日 (金)	1月10日 (金)
卓話 私の趣味② 「アートバルーン」 豊田克義会員	新世代会議 (27日例会分)	休 会	新年初例会 新年挨拶・初謡他 謡曲同好会

## ◆出席報告

本日 12月13日 会員数47名 出席者32名 出席率 78.0%  
前々回 11月29日 会員数47名 出席者47名 出席率100.00%

## ◆MAKE-UP

河合 利昭会員	明石北RC	12月10日 (12月23日)
藤田 茂会員	e-CLUB	12月12日 (12月13日)
桂田 重信会員	e-CLUB	12月 6日 (12月13日)
堤 哲雄会員	e-CLUB	12月12日 (12月13日)
信原 智彦会員	e-CLUB	12月 9日 (12月13日)
後藤 純次会員	e-CLUB	12月 8日 (12月20日)
後藤 純次会員	e-CLUB	12月 8日 (12月23日)
井本 雅也会員	e-CLUB	12月12日 (12月 6日)
井本 雅也会員	e-CLUB	12月12日 (12月13日)
加納 基宏会員	国際ロータリー	3月 4日 (11月22日)

## ◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

堀 直樹会員……出席100%の祝を頂きありがとうございます。(1年)  
名島 一成会員……誕生日の祝を頂きありがとうございます。  
川勝 厚志会員……結婚記念日の祝を頂きありがとうございます。  
早退1名

## ◆幹事報告 (2,969回)

ガバナー事務所より

地区補助金申請期間および奨学金についてのお知らせが届いています。

地区大会RI会長代理が決定しました。

国際ロータリー第3460地区 Chao-Hsiang-Lee様

社会奉仕活動アンケートの結果報告が届いています。

the rotarianの冊子が届いています。

高砂市学校保健会より「保健だより」が届いています。

2014年国際ロータリー年次大会の参加旅行のパンフレットが届いています。

国際基督教大学よりクリスマスカードが届いています。

## ◆会長の時間

早いもので今年も残す所僅かになって参りました。師走に入り、少しずつあわただしい日々かと思いますが、以前に比べますと、歳を重ねるとなんだか年末という感じが余り湧きあがってくる事が無くなったように思いますが、皆さんは如何でしょうか？

ご存じのように、師走の語源は、師が走る、すなわち僧侶が仏事で走り回る忙しさという平安期からの説が有ります。昔は正月も盆と同じようにご先祖の霊をともらう月になっていたようで、言語学的な推測にては「年果てる」や「し果つ」等から「しわす」に変化したという説も有るようですが、今の師走の漢字は、江戸時代にあてられた字だそうです。

恒例の今年の漢字は、「輪」になったようです。

今年一年を振り返りますと、今年は本当に自分自身に身近な方達とのお別れが多く、年の瀬になり、寂しい想いになっております。あの方にはこのようにして上げられれば良かったのに、またこの方にはこのようにとの想いが強く出て参りました。

1年を振り返り自分自身に問いかけ、今年1年は如何な事を行い、また人のお役目に立てたかと問いかける時間になってしまいました。悔いの無い日々を送る為にも、自分の心に正直に生きていくのも大事かと思いますが、少しはその心の道から外れ、物思いにふける時間を取るのも一考かと思えます。仕事が忙しい事は良い事ですが、自分を振り返り、ふと今年お別れした方達に、もう一度少し心の中でお話したいと思っております。

皆様は如何でしょうか。

今後は悔いの無い年を迎えられるように、仕事にまたRCに力を注げるようになりたいものと思わされた師走です。



片嶋純雄会長

## ◆本日のプログラム

### 卓話 会長経験者卓話第2弾

#### 「鎧・兜の製造工程について」

名島一成会員

#### ◎端午の節句と五月人形

##### 端午の節句の意味

現代では「こどもの日」として祝われる5月5日。この日はもともと五節句の端午の節句にあたります。端午の端は「はじめ」という意味で、「端午（たんご）」は5月最初の午（うま）の日のことでした。それが、午（ご）という文字の音が五に通じることなどから、奈良時代以降、5月5日が端午の節句として定着していきました。

江戸時代に入り、勢力の中心が貴族から武家に移るとともに、「菖蒲（しょうぶ）」の音が、武を重んじる「尚武（しょうぶ）」と同じであることから、「端午の節句」は、「尚武（しょうぶ）」の節句として、武家の間で盛んに祝われるようになりました。この節句は、家の後継ぎとして生れた男の子が、無事成長していくことを祈り、一族の繁栄を願う重要な行事となったのです。

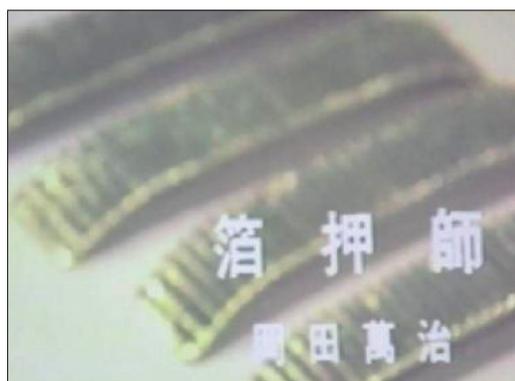


3月3日のひなまつりが、女の子のための節句として花開いていくのに呼応するように、5月5日の端午の節句は、男の子のための節句として定着していきました。

鎧や兜を飾ることは、武家社会から生まれた風習です。身の安全を願って神社にお参りするときに、鎧や兜を奉納するしきたりに由来しています。鎧や兜を“戦争道具”と受け取る考えがありますが、武将にとっては自分の身を護る大切な道具であり、シンボルとしての精神的な意味がある大切な宝物でした。

現在は鎧兜が“身体を守る”ものという意味が重視され、交通事故や病気から大切な子どもを守ってくれるようにという願いも込めて飾ります。

鯉のぼりは、江戸時代に町人階層から生まれた節句飾りです。鯉は清流はもちろん、池や沼でも生息することができる、非常に生命力の強い魚です。その鯉が急流をさかのぼり、竜門という滝を登ると竜になって天に登るという中国の伝説にちなみ（登竜門という言葉の由来）子どもがどんな環境にも耐え、立派な人になるようにとの立身出世を願う飾りです。





鑄物師

時岡信二

(京都市伝統産業技術功勞者)



飾り金具師

中川五朗



塗師

石川源治



甲冑師 平安武久

佐治 一



佐治知

(京都市伝統産業技術功勞者)



会長 片嶋 純雄                      幹事 高木 史郎  
例会日時 毎週金曜日12時30分より  
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 後藤 純次  
例会場 高砂商工会議所 2階会議室  
[http://www.winwin.ne.jp/~takasago\\_rc/](http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/)